

会 議 録

1 会議名

令和6年度 第3回上越市スポーツ推進審議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 第3次総合教育プランに基づくスポーツ施策の取組状況（令和6年度）（公開）

- ・取組 4-1 スポーツ活動の充実【資料1】
- ・取組 4-2 スポーツ環境の充実【資料2】

(2) 第3次総合教育プランに基づくスポーツ施策の取組概要（令和7年度）【資料3】
（公開）

3 開催日時

令和7年3月28日（金）午前9時から9時55分まで

4 開催場所

上越市教育プラザ 研修棟 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委 員：土田委員長、佐藤副委員長、槇本委員、江口委員、饒村委員、市川委員、春日委員、國弘委員、市川委員、川澄委員、飯塚委員
- ・事務局：スポーツ推進課 石田課長、倉石副課長、高橋係長、柏村係長、池田主事
地域クラブ活動推進室 市川室長
学校教育課 曾根原指導主事

8 発言の内容

○議題(1) 第3次総合教育プランに基づくスポーツ施策の取組状況（令和6年度）

- ・取組 4-1 スポーツ活動の充実
資料1に基づき事務局が説明
- ・取組 4-2 スポーツ環境の充実
資料2に基づき事務局が説明

○議題(2) 第3次総合教育プランに基づくスポーツ施策の取組概要（令和7年度）

資料3に基づき事務局が説明

江口委員： 体育施設整備事業について、全て一般体育施設の予算となっている。スポーツ環境の充実として、今後の部活動の地域展開に向けて、生徒だけでなく、生徒以外も各学校の体育館の利用が想定され、利用者数は増えると思われる。学校教育課に対して、毎年、照明や雨漏りの修繕要望を提出しているが予算の都合上、修繕が行われない状況である。特に照明は日中に点灯しても暗く、授業に差し支えるほどの時もある。できれば体育施設整備事業の中に学校体育施設を含めて検討してほしい。

事務局： 学校体育館の照明の明るさについては、学校の授業は日中に使用するため、照明を使用する機会が少ない一方、学校開放では、夕方や夜間に体育館を使用するため、照明を使用する機会が多い状況にあることから、照明の修繕に関する予算をスポーツ推進課で要求し、学校側とスポーツ推進課で役割を切り分けて進めている。今後は部活動の地域展開に伴い、夜間の利用が増えていくことが想定されることから、一定の照度を保ちながら、活動の安全が確保できるよう整備を進めていきたいと考えている。

土田委員長： 夜間に体育館を使う団体等から照明に関する意見は出ているか。

事務局： 体育館の照明が暗いという意見はある。一方でバドミントンなどの上を向く競技団体からは、明る過ぎるといった意見もいただいている。

佐藤副委員長： 令和6年度と令和7年度の事業で異なる点を紹介してほしい。また、施設整備事業費は令和6年度と比較して増減はどうか。

事務局： 体育施設の整備や改修、修繕に関しては、法定点検や管理人による日常点検、各競技団体からの要望を基に優先順位を決めて、予算要求を行っている。例えば、体育館は80年使用する予定で、その半分の40年前後に大規模改修を行うという考え方で進めている。令和6年度は、大潟体育センターの大規模改修工事を実施した。本年は、牧体育館の大規模改修工事を行うための設計業務委託を予定している。また、そ

の他大きな工事としては、高田城址公園陸上競技場の 2 種公認更新工事や頸城ふれあいグラウンドの人工芝張替工事、柿崎第一庭球コートの人芝張替工事などを予定している。また、ソフト事業に関しては、上越市スポーツ協会を中心に各競技団体と定期的に打ち合わせを行いながら活動を支援していきたいと考えており、補助金については、財政が厳しい中ではあるが例年並みを確保できたと考えている。

土田委員長： 体育施設について、地球温暖化による高温対策が今後必要になると考えている。学校体育館では、高温により 7 月から 9 月までの体育の授業の実施が厳しくなっている状況にあると聞いている。屋内施設であれば、冷房設備の導入、屋外施設では、日陰ができる仕組み等の熱中症対策が必要になってくると考えている。体育施設の維持管理に加えてプラスの要素として、高温対策が必要になる可能性が高いため、今後視野に入れていくべきと考えている。

○その他 上越市における部活動の地域展開について（地域クラブ活動推進室）

資料に基づき地域クラブ活動推進室が説明

春日委員： 地域クラブ活動に参加する生徒はよいが、参加しない生徒は運動をしなくなってしまい、二分化されてしまうのではないかと心配している。中学校の授業や休憩時間に体を動かして記録にチャレンジできるレクリエーション種目をやってみてはどうか。

地域クラブ活動推進室： 地域クラブ活動の整備において「多様化」を 1 つのキーワードとしている。これまでは、限られた種目で競技志向が強い活動が多かったが、熱心に部活動に取り組む生徒だけでなく、例えば、運動が苦手な部活動に前向きでない生徒も楽しめるようなレクリエーションなど、ジャンルにとらわれない活動もあるということを知っているところである。2 月から地域クラブの認定の募集を始めているため、レクリエーション団体も加わっていただけるようお声掛けなどをお願いしたい。

春日委員： 地域クラブに参加する場合は送迎などの負担が実態としてあると思う。できれば学校の中で、そのようなレクリエーションを実施してほしい。

地域クラブ活動推進室：授業や部活動にそのようなレクリエーションを取り入れるということもあるかと思う。今後は、学校が担う部分と地域が担う部分を学校運営協議会や青少年育成会議など様々なネットワークを通じて、学校を含めた地域全体で子どもたちのスポーツ環境を整えていくための協議がなされるものと考えている。

江口委員：競技力の向上を目指す活動ではなく、更に幅広い活動を目指すという説明があったが、第3次総合教育プランにおけるスポーツ競技力の向上に係る成果指標はこれからも必要か。部活動の地域展開の方針と矛盾するのではないか。

事務局：当該指標は、部活動の地域展開が明確になる前に設定したものであり、今後の部活動の地域展開にあわせて見直しを進めていくべきと考えている。

9 問合せ先

教育委員会事務局 スポーツ推進課 企画推進係

TEL：025-545-9246（内線 2780）

E-mail：sports-k@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。